



新教出版社 出版通信

2024年
8月

〒162-0814 東京都新宿区新小川町9-1 Tel: 03-3260-6148 Fax: 03-3260-6198
ホームページ: <https://www.shinkyō-pb.com/>

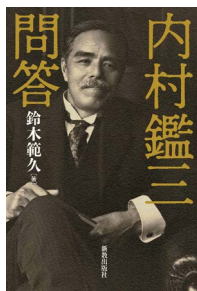
内村鑑三問答

鈴木範久著

◆四六判・280頁・定価2970円

内村鑑三の人と思想に迫る

7月5日発売



70年にわたり内村と向き合い続け、記念碑的な『内村鑑三日録』全12巻を世に問うなど、終始内村研究を主導してきた著者が、「なぜ最初の結婚は破綻したのか」「新島襄から離れたわけは」「天皇をどうみたか」など、更なる解明を要する24の「謎」を取り上げ、その人格と思想に迫る。巻末に、著者が現時点で最も正確と考える年譜を付す。

鈴木範久（すずき・のりひさ） 1935年生まれ。東京大学卒業。

専攻宗教学宗教学。立教大学名誉教授。著書『明治宗教思潮の研究』

（東京大学出版会）、『内村鑑三』（岩波新書）、『内村鑑三日録』全一

二巻（教文館）、『聖書の日本語』（岩波書店）、『内村鑑三の人と思想』

（岩波書店）、『日本キリスト教史―年表で読む』（教文館）、『聖書を

読んだ三〇人―夏目漱石から山本五十六まで』（日本聖書協会）、『文

語訳聖書を読む―名句と用例』（ちくま学芸文庫）、『内村鑑三交流

事典』（同）、『聖書語から日本語へ』（教文館）ほか。編集『内村鑑

三全集』全四〇巻（岩波書店）ほか。

【目次より】

- 一 東北か西南か
- 二 クラークに会ったか
- 三 進化論をどう理解したか
- 四 最初の結婚はなぜ破綻したのか
- 五 新渡戸稲造は親友だったか
- 六 新島襄から離れたわけは
- 七 宣教師は嫌いか
- 八 「不敬事件」はなぜ大騒ぎになったか
- 九 天皇をどうみたか
- 一〇 無教会主義は教会の否定か
- 一一 好きな日本人牧師はいたか
- 一二 バプテスマ（洗礼）をおこなったか
- 一三 他教徒との交流はあったか
- 一四 戦争はすべて否定したか
- 一五 人生相談に応じたか
- 一六 なぜ学校を創立しなかったか
- 一七 『羅馬書の研究』はだれの著作か
- 一八 桜の花に何を思ったか
- 一九 福祉施設で働いた経験は活かされたか
- 二〇 文学者たちは棄教したのか
- 二一 生貧しかったか
- 二二 商売をしたら成功したか
- 二三 ユーモアを解したか
- 二四 最期は自然死で迎えたか

内村鑑三略年譜

● 3 月 刊 行

奴隷より身を起こして

ブッカー・T・ワシントン自伝

佐柳文男・光代訳、大森一輝解説 ◆四六判・定価 2860 円

20 世紀初頭のアメリカで最も著名な黒人だったワシントン。苦学力行の末に白人上層に賞賛される。黒人保守派の元祖と目される人物の自画像を通じて、差別に対する闘争と迎合の微妙な狭間を考えさせられる。



● 2 月 刊 行

われら主の僕

リベラルアーツの森で生まれ

ICU 伝道献身者の集い編

◆A5 判・定価 2100 円

国際基督教大学は献学以来、牧師をはじめ数多くの伝道者を輩出してきたことでもよく知られる。この特異な学舎で彼らの献身の志はいかにして育まれたのか。70 名余りの卒業生たちの、遺稿も交えて記される興味尽きない証し。



● 2 月 刊 行

教会論と終末論

サクラメントと終末論を視野に入れた教会論

松田 央著

◆四六判・定価 2200 円

イエスの言行に現わされた福音を信じ、教会生活を通して信仰を実践し、終末を待ち望む——この道筋を聖書に即して分かりやすく解説。キリスト論、教会論、特にサクラメント論、そして終末論を学ぶための好著。



● 1 月 刊 行

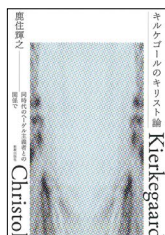
キルケゴールのキリスト論

同時代のヘーゲル主義者との関係で

鹿住輝之著

◆A5 判・定価 4950 円

キルケゴールの体系批判は同時代のヘーゲル主義者に向けられていた。デンマーク社会の近代化に直面した彼らの対応の相違をキルケゴールのキリスト論に見出し、その理路を解明した俊英の力作。



エリーザベト・ルーカス著／草野智洋・徳永繁子訳

ロゴセラピー

人間への限りない畏敬に基づく
心理療法「仮題」

ウィーン大学でフランクフルトに師事し、実践家・教育者としてロゴセラピーの普及と理論化に貢献した著者が、基本的な人間観から説き起こし、具体的な方法論にいたるまでを詳細かつ体系的にまとめた教科書。人間への深い洞察と信頼に貫かれた本書は、人と関わることを生業とするすべての人に豊かな示唆を与えるであろう。

A5判・予価3300円

ミロスラフ・ヴォルフ著／彦田理矢子訳

排斥と抱擁

アイデンティティ・他者性・
和解についての神学的探求

異質な者を憎悪し、殺し、排斥しようとする者を、私はどのようにして愛し、抱擁することが可能なのか。暴力が猛威を振るう世界の中で和解の道はあるのか。凄惨な内戦を経験したクロアチア出身の著者は、この問題を探求した本書（1996年）を、自らの知的葛藤の記録であると同時に霊的旅路の記録とも呼ぶ。「クリスチヤニティトゥデイ」誌が「20世紀で最も影響力のある100冊」に選んだ書の待望の邦訳。

A5判・予価7700円

藤原佐和子著

現代エキュメニカル運動史

ジェンダー正義の
視点から読み解く

女性按手やセクシュアリティに関わる問題群は90年代以降の「エキュメニカルな冬」をもたらしたとされるが、そこではいかなる論争と実践が展開されてきたのか。「WCCジェンダー正義に関する基本原則」（2022年）の採択にいたる流れを丹念にたどる。ジェンダー正義の視点から綴られた、これまでにない新たなエキュメニズムの歴史。

四六判・予価3700円

● 6月の雑誌

● 5月の新刊と雑誌

滝沢克己の現在

没後40年記念論集

滝沢克己協会編 没後40年記念論集



滝沢克己の現在
没後40年記念論集

滝沢が最晩年に欧州の神学界に問おうとした「純粹神人学」は、没後40年を経て今なお読む者を挑発し続ける。それに応答した14名の渾身の論考を収録する。

◆四六判・定価3740円

クイア神学入門

その複数の声を聴く

クリス・グリノフ著／薄井良子訳



本書は、クイアとキリスト教に関する基本的な概念を平易に解説すると同時に、これら複数の神学的な冒険の歴史と最前線の議論を紹介する。多くの人の疑問に答え、新たな理解と更なる学びへと促す。

◆四六判・定価2970円

福音と世界

◆定価660円

7月号 日本宗教史におけるキリシタンから現代へ

寄稿者：狭間芳樹、朴銀瑛、メナチエ・アンドレス、

三輪地塩、長谷川(間瀬)恵美、芦名定道

連載 インタビューシリーズ 女たちの闘い、田島卓、

今高義也、長尾優、C・J・サンダース&A・ヤーバー、

山崎ランサム和彦、勝村弘也

編集部から

少し早い話題ですが、来年の渡辺禎雄版画カレンダーの準備がもう始まっています。二〇二五年版の絵は、聖家族のエジプト逃避を描いた一九七〇年の作品に決まりました。背景のどんよりした灰色は、幼子を抱えて難民として生きていかねばならない両親の不安を重苦しく映し出しているのかもしれない。しかしイエスを抱き包むマリアの服は燃えるような赤死の恐怖に抗して命を育もうとする意志を表しているかのようです。ガザをはじめ、残念ながら世界から難民が絶えることのない状況を前に、どこに希望があるのか、どうしたらよいかと問いながらこの絵を選びました。(小林)



販売部から

「カール・バルト著作集」第3巻に「教会の洗礼論」があります。そこで述べられている内容を私なりに総括しますと「洗礼という聖礼典は人間の救済を引き起こすだけではなく、人間の革新を示す。これは神がイエス・キリストにおいて人間をご自身の子とし、契約の相手とされた。この恵みによって、信仰を自覚めさせ、人間を信仰生活へと導く。」本書でバルトは洗礼の本質に関して「地上のいかなる勢力も変更することができない客観的事実、あらゆる事情のもとでご自身かけて神が主張なさる客観的事実であることを、証しする」(61頁)。また洗礼の意義について「イエス・キリストの教会が形づくられて神の栄光があらわれる点にある」(71頁)と述べています。つまり、洗礼はイエス・キリストの救いの出来事を映し出すという意味が強調されていると思われます。「教会の洗礼論」を読み通すことによつて、私は洗礼に関して、本来の意味はキリストとの一体化であること、またキリストへ従順の第一歩であることを見出すことができました。新教出版社は今年で創立八〇年を迎えます。これからも皆様の心に届く出版物をお届けできましたら幸いです。(坂谷内)

福音と世界

2024年
8

A5判・80頁・定価660円・送料70円
年間予約購読料(送料共) 8760円

特集1 戦争を起こさない責任

国境線平和学校の平和運動——鄭 址錫
平和をつくりだすために——牧師として
——市民としてできること——栗原 茂

「暴力」に抗うということ——斉藤小百合

特集2 地域事業の拠点としての教会

川崎教会と社会事業、そのはじまり

私的回顧から——李 省展
「ミニミニイ」としての教会——佐々木炎

浦河教会とへてるの家

——その実際と今後の展望——山本光一

ウクライナ戦争即時停戦論と

ドイツのキリスト教会 2 ……川田洋一

【好評連載】

◆ 女たちの闘い、声をつむぐ、織りなす 村上千代さん

◆ 証言としての旧約聖書 3 ……田島 卓

◆ 八木重吉の聖書 13 ……今高義也

◆ 私は告白する、私の神を 17 ……長尾 優

◆ 教会におけるマイアロケーション 28 サンドラス、ヤーバー

◆ 「日本的キリスト教」を読む 28 ……山口陽一

◆ 新約釈義 ルカ福音書 32 ……山崎ランサム和彦